

●週刊文春2月21日号



反響の大きかった、1月10日外交防衛委員会での質問。とくなが久志の「防衛省報償費」に関するコメントが、週刊文春に掲載されました。

民主党の徳永久志参議院議員が呆れて話す。「報償費の予算が、九年間ずっと一億二千三百九十七万七千円。決算額も全体的に同額で使い切っている。この九年間、9・11テロや北朝鮮のミサイルなど日本の安全保障にとって重大な局面があったから、情報活動の強化で予算アップがあってもいいはず。こんな決算を見て、大臣から大臣政務官まで九年間も疑問に思わなかったこと自体、末期的症状です」

### とくなが久志 憲政史上初 条約案による「両院協議会」委員に選ばれる

4月25日、とくなが久志は参議院を代表して、衆議院と協議を行う「両院協議会」の委員に選任されました。



憲政史上初の大舞台に身が引き締まります

両院協議会は、衆参の議決が一致しない場合に意見を調整する機関として、憲法の規定により設置され、国会議事堂の衆参両院の真ん中に位置する、両院協議会室で開かれました。今回は「思いやり予算」に関する条約の議決が一致しなかったために設置



参議院公報にも掲載されました

されました。条約案で設置されたのは、憲政史上初めてのことです。成案を得るべく、衆参の話し合いが行われましたが、協議は整わず、憲法の規定により衆参の議決が優先され、条約案は成立することになりました。

とくなが久志は『その場に居合わせてみて、大学生の時に憲法のテキストを読みながら、「両院協議会ってどういうふうになるのだろう?」と想像していたのを思い出した。「憲政の常道にしたがって」とよく聞く言葉だが、かつての「憲法学徒」として、とても身の引き締まる瞬間を体験した思いであった。』と語っています。

### とくなが久志事務所のご案内

滋賀県近江八幡市桜宮町294 YP1  
TEL:0748-31-3047 FAX:0748-31-3057  
E-mail:info@e-siga.com

東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館619号  
TEL:03-3508-8619 FAX:03-5512-2619



### イージス艦事故の漁船捜索 防衛省、費用負担へ

海上自衛隊のイージス艦衝突事故を受け、防衛省は27日、行方不明となつた漁船の捜索に協力した新潟県佐和田市(佐和田)の漁船「魚丸」の燃料代や事務所賃、食料代など経費負担の方針を決めた。石破防衛大臣は同日の参議院外交防衛委員会「漁協関係者から誠意やうたない」と説明した。

3月27日の外交防衛委員会での、とくなが久志の質問に対して、石破防衛大臣は漁協関係者の方々は誠心誠意やうたうと言われるよう早急に検討する」と答弁。これを受けて、防衛省は漁船捜索の燃料代などの経費負担の方針を決定しました。

●3月28日付日本経済新聞

韓国の総合雑誌にインタビュー記事が掲載されました。

●韓国の総合雑誌のインタビュー記事



“한국과 일본은 더 이상 어느 쪽이 우위를 논할 필요가 없는 동등한 파트너다. 이 두 나라의 협력 지역 질서를 결정할 것이다.”



### 滋賀県選出国會議員6名奮闘中!

衆・参議院、共に力を合わせて戦います!

これからの滋賀、これからの日本のために責任の重さをひしひしと感じました! 今後も正々堂々と国会で議論を戦わせていきます!

<b>川端達夫</b> 1区 衆議院議員 民主党滋賀県第1区総支部長	<b>田島一成</b> 2区 衆議院議員 民主党滋賀県第2区総支部長
<b>林久美子</b> 参議院議員 民主党滋賀県参議院選挙区第1区総支部長	<b>奥村展三</b> 4区 衆議院議員 民主党滋賀県第4区総支部長
<b>三日月大造</b> 3区 衆議院議員 民主党滋賀県第3区総支部長	

ポスターも新たに、掲示のご協力よろしくお願いします!

私たちが 共にがんばります

民主党公認・推薦 滋賀県議会議員一同

大津市 成田 政隆	大津市 柴田 智恵美	長浜市東浅井部 田中 章五	彦根市 中沢 啓子
草津市 出原 逸三	栗東市 九里 学	彦根市 江畑 弥八郎	米原市 西川 敏輝
大上郡 辻 孝太郎	愛知郡 西沢 桂一	守山市 大井 豊	野洲市 青木 愛子
近江八幡市 今江 政彦	東近江市 山田 美	甲賀市 西川 勝彦	湖南市 谷 康彦



2008年7月発行  
民主党滋賀県参議院選挙区 第2総支部版  
民主党プレス民主編集部  
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1  
電話:03-3595-9988 (代表)  
press@dpj.or.jp http://www.dpj.or.jp

民主党滋賀県参議院選挙区第2総支部 総支部長  
参議院議員 **とくなが久志**  
民主党滋賀県参議院選挙区第2総支部  
〒523-0893 近江八幡市桜宮町294YP1  
TEL:0748-31-3047/FAX:0748-31-3057  
HP www.e-siga.com E-mail info@e-siga.com



## 一年間の活動を振り返り、政権交代の決意を新たに!

### 県議会と国会

いつも力強いご支援をありがとうございます。

10ヶ月にも及んだ通常国会も、6日間の延長の末、閉会しました。平日は東京で、土日は滋賀で、次から次へとやってくる仕事をこなしつつ、あっという間に過ぎ去った感じがします。

8年間在職した県議会との最大の違いは、日程の決まり方。例えば県議会での質問日は少なくとも1ヶ月前には決まっていますが、国会では前日に決まることも普通。「徳永君、明日、質問してくれよ。総理入りでTV中継もあるから」と先輩議員から通告されて、びっくり仰天なんてこともありました。

### 通常国会の総括

「ねじれ国会」と言われ、何か機能がマヒしているかのように言われました。二院制を採る世界の議会では、決して珍しいことではありません。自民党が衆参ともに多数を占めることが当然だと考えている人たちには困った現象なのでしょう。

参議院で民主党が第一党にならせていただいた結果、これまでは光があてられなかった問題が大きくクローズアップされることとなりました。ガソリン税のいい加減な使い方、後期高齢者医療制度のおかしさ、居酒屋タクシーなどなど。

これらは、衆参ともに自民党が過半数を占めていたならば、おそらく闇から闇へと消し去られていたに違いありません。

予算や法律、日銀総裁などの国会同意人事も、政府与党の提案だけで決まる状況ではなくなったということです。この国会で80本の法律が成立しましたが、政府提出法案



を与野党合意で修正したものが13本、議員立法で成立したものが17本となっていることから明らかです。

### 堂々と総選挙による政権交代を

もちろん、参議院選挙でお約束した政策のすべてが実現したわけではありません。「消えた年金」の解決や後期高齢者医療制度の廃止など、待ったなしの課題も山積みです。

その実現のためには、「国民の生活が第一」の政治を実現するためには、何と言っても政権交代を成し遂げなければなりません。議員の集合離散による国民不在の再編ではなく、総選挙による政権交代を堂々と目指していきたいと決意を新たにしています。

### 家族ともども元気

国会休会中は当然ながら滋賀が活動の中心。「どうして、お父さんは今日も家にいるのよ」と9歳の娘に言われても、「パパ、おかえり」との3歳の娘の言葉にほっと一息ついてます。



家族ともども元気に過ごすことができることに感謝しながら、日々、充実した活動を行うべく努めてまいります。時節柄ご自愛のほど、お祈り申し上げます。

参議院議員 **徳永久志**

### Profile とくなが久志

参議院での役職:行政監視委員会 理事、外交防衛委員会  
民主党での役職:県連副代表、県連政策調査会長

1963年(昭和38年)生まれ  
近江兄弟社中学校卒業、滋賀県立彦根東高校卒業、早稲田大学政治経済学部政治学科卒業、財団法人松下政経塾卒業、衆議院議員公設秘書に就任、平成11年 滋賀県議会議員に初当選(1期)、平成19年 参議院議員選挙に初当選

## 国会レポート とくなが久志、国会で次々緒問題に言及!!

### H19 10/25 外務防衛委員会 当選後、初質問! 文民統制について、石破防衛大臣に問う

- とくなが久志:文民統制の基本的な認識は?
- 石破防衛大臣:政治が軍事に優先する。これが文民統制の基本の在り方。政治とは、文民である国会議員、防衛大臣、内閣総理大臣であり、主権者である国民に基礎を置く国会。
- とくなが:自衛隊は国会、国民の監視の下に置かれるのだと理解をしているが?
- 石破防衛大臣:基本的に共有する。
- とくなが:補給艦「ときわ」の給油量の取り違え問題は文民統制の根幹を揺るがす大問題。担当課長は上司に報告をしなかった。文民統制の視点からすれば一番やってはいけないことではないか?
- 石破防衛大臣:絶対にあってはならない。とんでもない話だ。



### H19 12/13 外務防衛委員会 給油新法、自衛隊員の心のケア

町村官房長官、石破防衛大臣 高村外務大臣に問う

#### 自衛隊員の心のケアについて

- とくなが:11月14日、高島市の饗庭野演習場で訓練中の自衛隊員が行方不明になる事件があった。自衛隊員が高い志と使命感に燃えて日々頑張っていることは十分に承知しているが、自衛隊員とはいえ生身の人間だ。自衛隊として心のケアはしているのか?
- 石破防衛大臣:27万という膨大な組織。平時の「軍隊」を維持するのは物すごく難しい。心に傷ができたときに手当てできる体制になっているか。意見を聞き、力を尽くしたい。

中面へ続く→

ブログ・とくなが久志奮闘録は携帯からもご覧いただけます。右のQRコードからアクセス! メールアドレスもこちらから

参議院インターネット審議中継もこちらから

アクセス方法 とくなが久志 で 検索

## 給油新法について



■とくなが:海上自衛隊の補給艦から外国の艦船への給油された燃料が適正に使われていたか、透明性の確保のための仕組みが欠けていたのではないかと。

■石破防衛大臣:交換公文の内容を改めること、現地確認作業を書面で行うこと、補給を受けた補給艦のその後のスケジュールを確認して補給することなどが必要である。

■とくなが:交換公文は条約に準じ、第一義的に転用を禁じる役割も持つが、具体的中身は？

■高村外務大臣:我が国が補給する艦船用燃料等が新法の趣旨に沿って適切に使用されるよう適切な措置を検討する。

■とくなが:バーレーンにいる海上自衛隊の連絡官による、油の適正な使用を確認する作業の充実強化が必要ではないか？

■石破防衛大臣:旧法の下では、書類において確認をしていなかった。必要な教育訓練には万全を期す。

## 初当選議員としてテレビ中継

**H20 1/10** 自衛隊派遣の国会承認について、  
福田総理に問う  
外交防衛委員会

## 防衛省報償費について

■とくなが:報償費の裏金捻出疑惑を、事実上認めるとの新聞報道があったが？

■石破防衛大臣:裏金を認める発言はしていない。

■とくなが:賞じゅつ金以外の報償費は、平成9年から17年までの9年間、予算額と決算額がびたりと一致している。残りの額を全部使い切るために架空の領収書を作って数字合わせたのではないかと？

■石破防衛大臣:報償費の性質上、結果として一致することもあるが、毎年同じ額というのは不自然。

## 防衛調達と予算について

■とくなが:防衛省に対する水増し請求が、総額597億円。無駄遣いのないよう予算を編成し、執行する姿勢が強く求められるのでは？

■額賀財務大臣:例年に増して厳しく対応した。

■とくなが:参考人招致で、額賀元防衛庁長官と秋山参考人と防衛関係企業の経営者と宴席をともにしたことはあるかとの問いに対して、数回あると答えているが？

□額賀財務大臣:学識経験者や企業と勉強会や会合を持ったが、特定の問題や企業について議論したのではない。

## 自衛隊海外派遣の国会承認について

■とくなが:自衛隊の海外派遣と国会承認についての総理の見解は？

■福田内閣総理大臣:一般論でも、今回の新法でも、自衛隊の海外活動の内容はあらかじめ決まっている。法案の成立と活動内容の承認により国会承認も得られると考えている。

■とくなが:民主党案にはしっかりと国会承認事項が明文化されており、この点だけに限ってみても民主党案の方が優れていると言える。



## チベット問題とイージス艦衝突事故について

**H20 3/27** 石破防衛大臣、高村外務大臣に問う  
チベット問題について  
外交防衛委員会

■とくなが:正確な情報が伝わってこない。中国政府によるプロパガンダ的情報のみが流されている。中国側に申

し入れるべきでは？

■高村外務大臣:国会や記者会見でも、外交ルートでも、中国にさらなる透明性を求めている。

■とくなが:ダライ・ラマ法王とも意見交換をする必要性はあるのでは？

■高村外務大臣:プラス面はない。



## イージス艦「あたご」と漁船清徳丸との衝突事故について

■とくなが:清徳丸の捜索に協力をした地元の漁協の方々に対して、経費を政府が負担する考えはあるか？

■石破防衛大臣:漁協関係者の方々から国は誠心誠意やっとな言われるように、早急に検討する。

■とくなが:潜水艦「なだしお」と釣り船第一富士丸の衝突事故の教訓は、十分に生かされ、徹底され続けてきたのか？

■石破防衛大臣:「なだしお」の教訓が徹底されていたか、謙虚に虚心坦懐に検証しなければならない。

■とくなが:事故があった海域は非常に交通量が多い危険な海域。艦長が寝ることは危機管理能力に欠けている行為ではないか？

■石破防衛大臣:艦長の仮眠は適切ではなかった。

## 「思いやり予算」について

**H20 4/22** 石破防衛大臣、高村外務大臣に問う  
■とくなが:いわゆる思いやり予算の特別協定を、さらに今後3年間締結した理由、背景は？  
外交防衛委員会

■高村外務大臣:我が国の安全保障にとって不可欠な日米安保体制の円滑かつ効果的な運用に重要な役割を果たしているため。

■とくなが:「思いやり予算」で多額のお金を支払って初めて条約上の双務的対等だと聞えるか？

■高村外務大臣:条約上は双務契約だが、アメリカが負う青年が血を流してでも日本を守るという義務と日本が負う基地を提供する義務は、同じではない。日本は低いコストで平和と独立、安全を維持できている。

■とくなが:安保条約締結時や思いやり予算開始時と比べ、自衛隊の実力は飛躍的に伸びたが、米軍への依存の割合が拡大し負担額も増えている。どう考えるか？

■高村外務大臣:専守防衛を維持する以上、抑止力は米軍に頼らざるを得ない。



## PFI事業の政策評価について

**H20 6/2** 増田総務大臣、大田経済財政担当大臣に問う  
■とくなが:政策評価の客観性を担保するためには、行政監視機能がより強く期待をされる参議院に行政監視機関を設置すべき。今回の政策評価では、PFI事業が適切に推進されれば、バリュー・フォー・マネーが発現する余地があるという結果が出ているが、今後も積極的に推進していく方針か？  
行政監視委員会

■大田経済財政担当大臣:よりバリュー・フォー・マネー効果が発現するように努力したい。

■とくなが:PFI事業の推進上、成功事例が重要。自治体に対する適宜適切な指導、助言が必要では？

■増田総務大臣:公共団体に成功例をよく理解していただく必要がある。

■大田経済財政担当大臣:成功事例を全国で共有し、よいPFIにする努力が求められる。

■とくなが:PFIは長期契約であるので10年くらいのタームで推移を見守る必要があるのでは？

■大田経済財政担当大臣:一般論でいえば、住民の立場、病院利用者の立場に立ち、不当なことが起こらないように交渉をし、PFIの良い事例ができるように双方が努力することが望ましい。



## 写真で見る とくなが久志

2007 平成19年

8月 8月7日 初登庁

9月 9月1日 東江にて励ます集い

9月5日 草津市議会選挙応援

9月9日 びわこクリーンキャンペーン

9月11日 竜王町議会選挙応援

10月 10月13日 高島市新田川議員のミニ集会に参加

10月27日 政治スクール沖島にて

11月 11月25日 元滋賀県選出議員 目指せ!

11月4日 大津市富士見学区運動会

12月 12月2日 JA草津市菊花展表彰式

12月11日 江原八郎県議の県政報告会に参加

2008 平成20年

1月 1月6日 田島一成議員 新春の集い

1月6日 江八幡 竜王 安土消防団出初式

1月12日 三日月大議員年賀会

1月20日 川端達夫議員年賀会

1月25日 甲良町議会選挙応援

1月26日 徳久久志 新春の集い

2月 2月17日 草津市長選挙応援

2月9日 民主党県連大会

3月 3月10日 働くなかまの集い (五江八幡)

3月11日 春闘総決起大会

3月11日 久保久良殿

4月 4月12日 地元にてミニ集会

4月12日 第2回医療問題小委員会

4月27日 第79回滋賀県労働者統一ミーティング

5月 5月16日 土地家屋調査士会 定時総会

5月18日 第46回障害者スポーツ大会

5月25日 八日市大祝祭

6月 6月7日 第1回政治スクール

6月21日 第71回滋賀組定期大会

6月30日 第1回徳永杯ゴルフ